



親と子の健康づくり

☎問健康づくり課母子保健班(☎63-8711)

場所：旭市保健センター(旧飯岡保健センター)

種 別	期 日	対 象・内 容
健康 診 査	乳児健康診査	6月 6日(月) 令和 3年12月25日～令和 4年 1月 8日生まれ
		6月24日(金) 令和 4年 1月 9日～ 2月 8日生まれ
	1歳6か月児健康診査	6月 8日(水) 令和 2年10月22日～11月14日生まれ
	2歳児歯科健康診査	6月 9日(木) 令和元年11月25日～12月14日生まれ
		6月23日(木) 令和元年12月15日～令和 2年 1月 8日生まれ
	3歳児健康診査	6月10日(金) 平成30年11月23日～12月23日生まれ
		6月22日(水) 平成30年12月24日～平成31年 1月22日生まれ
相談 ※申込制	母乳相談	6月28日(火) 助産師による授乳方法の指導・相談
	離乳食教室	6月17日(金) 対象：令和4年1月～2月生まれ 内容：離乳食の進め方など
	両親学級	6月 7日(火) 沐浴実習、出産後の手続きなど
		6月30日(木) 妊娠中の過ごし方と注意点、お口と歯の健康、赤ちゃん和妈妈の栄養
	子育て学級	6月21日(火) 令和 4年 1月11日～4月 1日生まれの第1子と保護者 内容：遊びの紹介や赤ちゃんの事故予防など



健康インフォメーション

令和4年度大腸がん検診・前立腺がん検診を実施します

大腸がん検診

対象／40歳以上(昭和58年3月31日までに生まれた人)

内容／便潜血反応検査(2日法)

自己負担金／200円

前立腺がん検診

対象／50歳以上の男性(昭和48年3月31日までに生まれた人)

内容／血液検査(PSA測定)

自己負担金／300円

〈共通事項〉

●個別検診

期間／6月1日(水)～9月30日(金)

場所／各指定医療機関

●集団検診

検診会場・期間／○ひかた市民センター：9月1日(木)～3日(土) ○旭市保健センター(旧飯岡保健センター)：9月4日(日)～9日(金) ○あさひ市民センター(旧第二市民会館)：9月20日(火)～30日(金)

申し込み方法／健康づくり課または旭市保健センターの窓口で申し込んでください。

締め切り／9月29日(木)

☎問健康づくり課成人保健班(☎63-8766)



予防接種

☎問健康づくり課(☎63-8711)

【集団接種】 場所：旭市保健センター(旧飯岡保健センター)

種 別	期 日	受付時間	対 象
BCG	6月3日(金)	13：15～13：40	生後5～12か月未満

【個別接種】 場所：各指定医療機関

種 別	対 象
ヒブ	生後 2～60か月未満
小児の肺炎球菌	生後 2～60か月未満
四種混合、ポリオ	生後 3～90か月未満
水痘	生後12～36か月未満
麻疹・風しん混合	1期：生後12～24か月未満 2期：平成28年4月2日～平成29年4月1日生まれ
日本脳炎	1期：生後6～90か月未満 2期：9～13歳未満 特例対象者：平成19年4月1日以前生まれの20歳未満で、接種していない人
B型肝炎	生後12か月未満
ロタウイルス感染症	ロタリックス：出生6週0日後から24週0日まで ロタテック：出生6週0日後から32週0日まで
ヒトパピローマウイルス感染症	●小学6年生～高校1年生の女子 ●平成9年4月2日～平成18年4月1日生まれの子で、定期回数の3回接種をしていない人(キャッチアップ接種)
高齢者の肺炎球菌	65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳、60～64歳で心臓などに障害のある人 ※令和4年4月2日～令和5年4月1日に対象年齢になる未接種者に限り、3,000円を助成(助成は1回)。助成期間は令和5年3月31日(金)までです。
成人男性麻疹・風しん混合(風しん抗体検査の結果が陰性の場合)	昭和37年4月2日から昭和54年4月1日までの間に生まれた男性 ※令和元年～令和3年までにクーポン券を使用して風しんの抗体検査が済んでいない人は、令和4年度に発行したクーポン券を使用してください。

Healthy Square



健康ワンポイントアドバイス

どうしたらいいの？ 赤ちゃんの“泣き”

まだ言葉を話せない赤ちゃんにとって、泣くことは自分の欲求や不安を伝える大切なコミュニケーションです。赤ちゃんの“泣き”に悩まないように特徴や対処方法を知っておきましょう。

乳児期の“泣き”の特徴

生後3か月ごろまで

暑さや寒さ、空腹、おなかが苦しいなど不快を訴えている場合がほとんどのため、考えられる原因を除いてあげましょう。

3か月ごろから

寂しさや不安を訴えたり、飽きてしまい刺激を求めたりして泣くことがあります。抱っこをする、声をかける、歌を歌ってあげるなど気持ちの切り替えをさせてあげましょう。

6～9か月ごろまで

いつもお世話をしてくれる人の顔をはっきりと区別できるようになるため、人見知りや後追いが始まります。不安な気持ちから泣いてしまいがちですが、だんだん

知らない人でも怖くないことや、ママの姿が見えなくてもちゃんと戻ってくるのが分かって落ち着いてきます。できるだけいろいろな人に会う機会をつくりましょう。また、赤ちゃんの元へ戻ったら抱っこをするなど積極的に接してあげましょう。

泣きやまないときには

無理に泣きやませようとしても、泣きやまないことがあります。赤ちゃんの泣き声がつらいと感じたり、イライラしたりするときは少し赤ちゃんから離れ、気を紛らわせることも大切です。

赤ちゃんを安全な場所に寝かせ、すぐに様子を見に行ける距離で深呼吸をする、好きな音楽を聴く、お茶を飲む、少しでも誰かと電話で話をするなどして気持ちを落ち着かせてから、赤ちゃんの様子を見に行きましょう。

泣き声がいつもと違う、顔色が悪い、熱がある、吐いた、触ると痛がるなど体調に変化があるときには、かかりつけ医に相談しましょう。

【健康づくり課保健師】

旭中央病院便り



<https://www.hospital.asahi.chiba.jp/>
 岡旭中央病院 ☎63-8111・代表

地域向け広報誌「こんにちは」は インターネットでも見ることができます



地域向け広報誌「こんにちは」では、当院で行われている診療の紹介や、健康増進・病気の予防に関するアドバイス、連携医療機関のインタビューなどを掲載しています。

冊子を院内に配置しているほか、内容は病院ホームページからも見ることができます。



最新刊の内容 (vol.32 2022年5月発行)

- 表紙 旭中央病院ボランティアの皆さん
- 医療最前線「～地域の安心のシンボル～旭中央病院救急外来」救急救命科 伊藤史生医師、救急外来 森章看護師
- ニュース「僧帽弁閉鎖不全症に対する新しいカテーテル治療法が開始」循環器内科 神田順二医師
- リレーコラム「血管外科診察室での会話」 特任医師（血管外科） 古屋隆俊医師
- アクティビティレポート「院内施設の紹介～利用者にとってやさしい病院を目指して～」
- やさしい医学講座「Q：コロナ禍において、どのようにセルフケアしたらよいですか？」神経精神科 大高幸世公認心理師
- 旭中央病院の人財「医師」脳神経外科 山本邦厚医師
- かかりつけ医を持ちましょう
すずきクリニック（茨城県神栖市） 鈴木洋輝先生
- 健康ノート「今日から始めよう！ 糖尿病予防～その2～」醍醐未来歯科衛生士、石毛莉奈管理栄養士、浪川裕加社会福祉士